



機能の概要

Open API を使用して、契約ワークスペースのヘッダーデータの更新および契約明細の詳細を、リンク済みのコンプライアンス契約と同期 (SC-17776)

一般提供予定: 2023 年 11 月

Open API を使用して、契約ワークスペースのヘッダーデータの更新および契約明細の詳細を、リンク済みのコンプライアンス契約と同期

説明

この機能では、契約ワークスペースが更新または公開されたときに Contract Workspace Modification API および Contract Workspace State Change API が契約ワークスペースのヘッダーレベルのデータを、リンク済みのコンプライアンス契約と同期できるようにすることで、これらの API の機能を強化します。この機能では、新しいエンドポイントも Contracts Terms Management API に導入します。このエンドポイントをクライアントアプリケーションに実装すると、契約ワークスペースの明細情報を、リンク済みのコンプライアンス契約と同期できます。

メリット

- ソーシングから契約までのプロセスにおける効率の改善
- 契約ワークスペースのヘッダーレベルのデータは、リンク済みのコンプライアンス契約と自動的に同期されます。

ユーザー

- カテゴリバイヤー
- 契約マネージャ

イネーブルメントモデル

- お客様が設定

対象ソリューション:

- SAP Ariba Contracts
- SAP Strategic Sourcing Suite
- SAP Source-to-Contract Suite
- Icertis 向け SAP Ariba コネクタ
- Icertis Contract Intelligence プラットフォーム

前提条件、制限事項、注意事項

前提条件

管理者が、[オープン API を使用して契約ワークスペースのヘッダーデータを契約コンプライアンスと同期する] (Application.ACM.SyncContractWorkspaceHeaderDataWithContractComplianceUsingAPIs) パラメータを有効にする必要があります。このパラメータの詳細については、『Synchronize Contract Workspace Header Data With Contract Compliance Using Open APIs』を参照してください。

この機能に関連する SAP Ariba APIs を使用するためにアプリケーションを作成してアクセス権を依頼するには、SAP Ariba Developer Portal にアクセスする必要があります。詳細については、SAP Ariba Developer Portal のヘルプで「SAP Ariba APIs の使用を開始する手順」を参照してください。

この API に対して行われたクエリはすべて、OAuth 認証によって認証される必要があります。詳細については、SAP Ariba Developer Portal のヘルプで「SAP Ariba Developer Portal 認証」を参照してください。

API 呼び出しで ID が参照される SAP Ariba Contracts の契約ワークスペースは、コンプライアンス契約とリンクされる必要があります。契約ワークスペースをコンプライアンス契約とリンクする方法については、「契約ワークスペースの契約コンプライアンスへのリンク (契約条件リンクの作成)」を参照してください。

制限事項

- バイヤーは Contract Workspace Modification API を使用して契約ワークスペースのサプライヤ情報を更新する場合、Contracts Terms Management API を使用して、リンク済みのコンプライアンス契約と明細の情報を再同期する必要があります。
- バイヤーは UI から契約ワークスペースのサプライヤ情報を更新する場合、UI からのみリンク済みのコンプライアンス契約と更新を同期する必要があります。
- バイヤーが Contract Workspace State Change API を使用して契約ワークスペースを公開する場合、サプライヤ情報を除く、契約ワークスペースのヘッダーレベルのデータすべてが、リンク済みのコンプライアンス契約と同期されます。

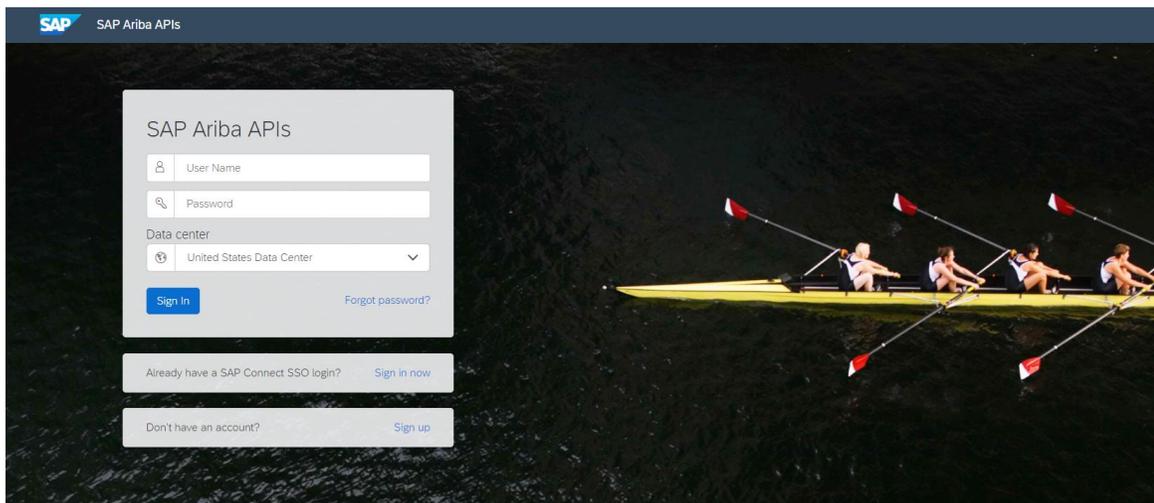
機能の詳細

企業は、以下の目的でこの機能強化された API をご利用いただけます。

- Ariba 契約ワークスペースで外部アプリケーションから契約条件ドキュメントを作成する。
- Ariba 契約ワークスペースで外部アプリケーションから契約条件ドキュメントを更新する (新機能)。
- ジョブ ID が、確認する目的でクライアントアプリケーションに返されます。

Contract Terms Management API

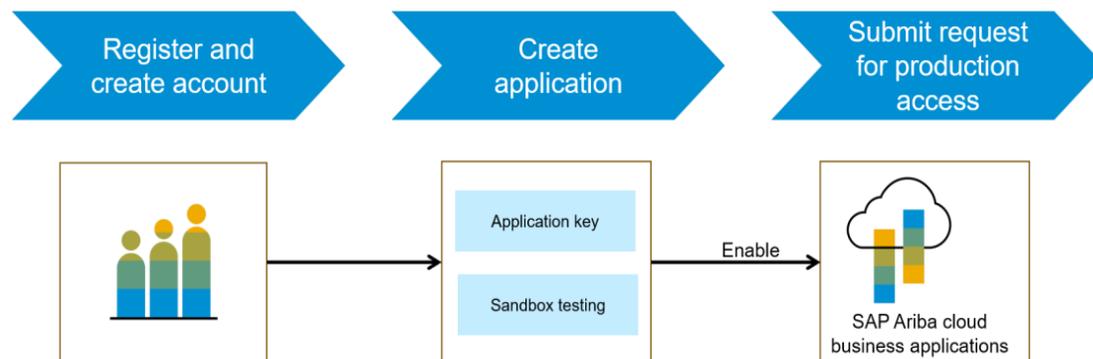
API を使用するアプリケーションの開発方法



SAP Ariba が提供する優れた環境と使いやすいツールで、顧客ニーズに対応する、領域に特化した強力なアプリケーションを構築します。

<https://developer.ariba.com/api/> に移動します。

[Learn (詳細)] セクションを確認し、アプリケーションの開発方法に関する詳細を理解します。一般的に、アプリケーションを開発するプロセスには以下のステップが含まれます。



1. Developer ポータルでの登録後に、SAP Ariba Contracts で使用可能な API をチェックし、各 API の詳細を確認します。
2. 新しいアプリケーションを作成し、アプリケーションを有効化してアプリケーションキーを取得します。
3. <http://connect.ariba.com> でサービスリクエストを提出して、作成したアプリケーションの「本稼動アクセス」を申請する必要があります。申請が承認されると、アプリケーションの OAuth クライアント ID が生成されます。
4. バイヤー管理者として、自分のプロフィールに OAuth クライアント ID を追加します。

ありがとうございました。

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2023 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしで変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する情報および表示の詳細については、www.sap.com/trademark をご覧ください。